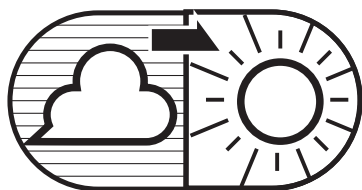


関税引き下げで攻勢へ

輸入パスタ



くもりのちはれ

10%減と伸び悩み、18年の総輸入量は13万t台の着地が見込まれている。久々のマイナスだが、19年はTPP11、日欧EPAの発効に伴い、パスタ関税は段階的引き下げとなり、輸入

1-9月のパスタ輸入量は10万5千t、前年比10・2%減。17年に膨らんだ在庫調整局面で、輸入量は前年比1万2千tの減少。ロングは輸入の半数を占めるイタリア産が13%減、シェアを拡大してきたトルコ産も

品の勢いが増すのは確実。現時点でトルコ、米国は協定対象外のため、当面はイタリア産の動向が最大の焦点となる。

パスタ輸入量推移

